

## 3. 「つづき 水と緑の魅力アップ推進委員会」解散後の活動展開

### 3-1. 継続して取り組むべき課題

平成 15 年度に策定した各部会の検討テーマは、一部の取組内容を除き、平成 18 年度末までの部会活動の中で検討目標を達成した。しかしながら、継続して取り組むべき課題もあることから、水と緑の魅力アップ推進委員会活動で築き上げたネットワーク等を活かして、今後も発展的に取組を続けていくことが望ましい。

| 部会     | 継続して取り組むべき課題   |
|--------|--|
| 第 1 部会 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仮称) 緑道委員会による緑道の魅力発信及び地域の緑道意識の向上</li> <li>・ 緑道の魅力を小中学生に伝えていくための緑道教材の作成</li> </ul>  |
| 第 2 部会 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ まち歩きイベントの企画、実施</li> <li>・ 「都筑区南部水と緑の散策マップ」の改訂</li> </ul>  |
| 第 3 部会 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 早渕川等の魅力アップ活動の継続</li> <li>・ 早渕川周辺整備基本計画の実現に向けた関係機関への働きかけ</li> <li>・ 南北緑道連結ルート「やさきのみち」「しらさぎのみち」「あさひのみち」の広報・PR</li> <li>・ 早渕川流域丘陵部の緑地保全に向けた検討</li> <li>・ 「river HAYABUCHI」ホームページの継続的な更新</li> </ul> |
| 第 4 部会 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ タウンセンター魅力アップ推進グループにおける各種提案の実現</li> </ul>  |

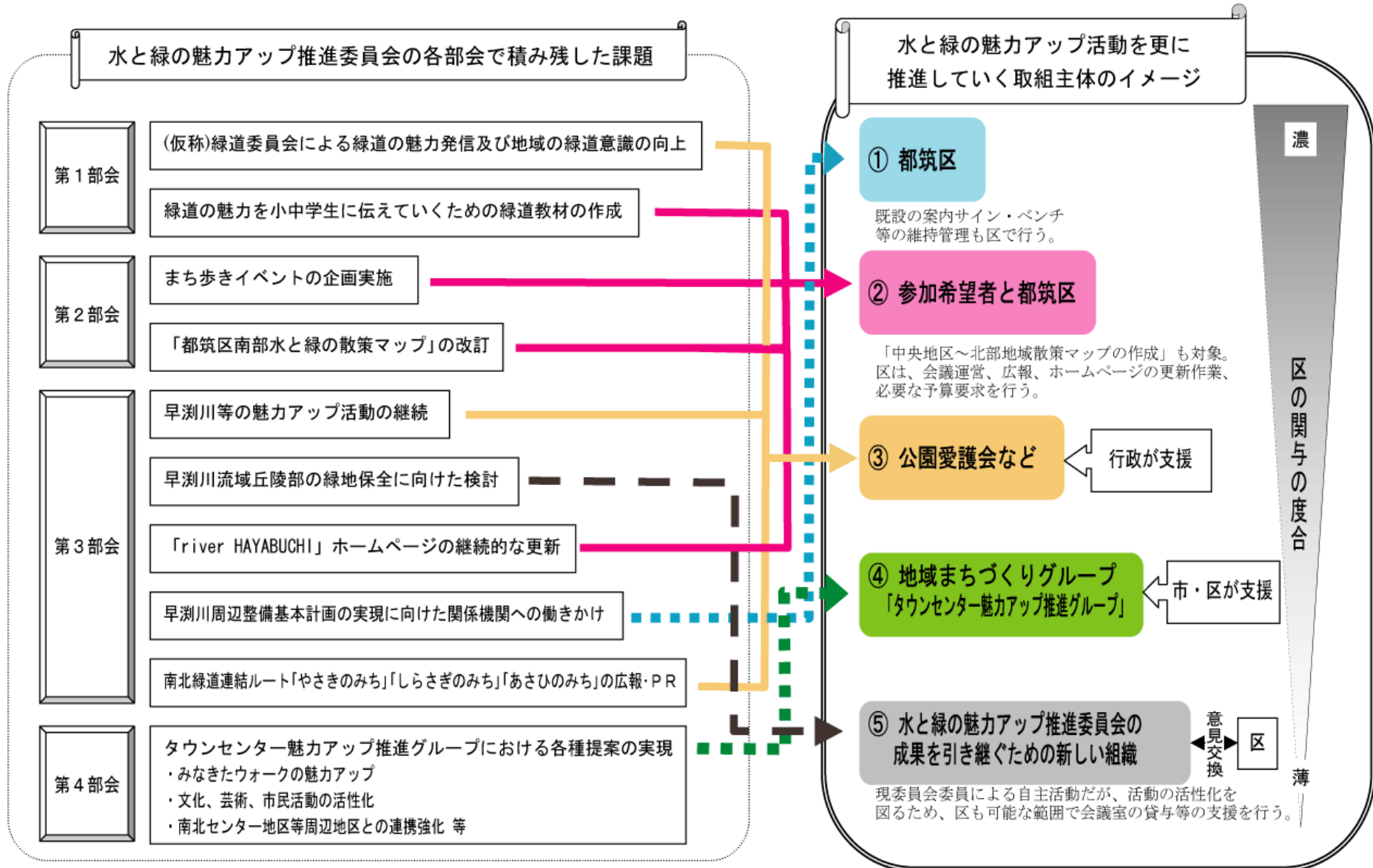
### 3-2. 委員会解散後の活動展開

区の水と緑の魅力アップに向けて継続して取り組むべき課題や新しく取り組むべき課題について、今後も発展的に取組を行うためには、それぞれの課題に応じて、区民と区役所等の行政とが役割を分担または協力し取り組むことが必要である。

今後の活動展開のイメージとして、上記の課題と、その課題に取り組む主体との関連を整理したものを次ページに挙げる。(図-17)

都筑区の貴重な水と緑の資源を守り育てていくためには、それぞれの地域の力が必要不可欠であり、この「つづき 水と緑の魅力アップ推進委員会」での活動で築き上げたネットワークや取組等が今後も活かされるよう、委員達と区役所との双方の協力が必要である。

図-17 委員会解散後の活動展開イメージ



つつき水と緑の魅力アップ推進委員会解散後の活動展開